

山加積地区の主な提言等と回答要旨

提言等の項目	H25秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
急傾斜のネット	何年か前に滑川黒川線の急傾斜部にネットをしてもらったが、だいぶ劣化してきているため、補修等できるならお願いしたい。	現地を確認し、直ちに県に陳情します。
道路外側線	スーパー農道から武内プレスへの道路に外側線等がない。通行量が多いため、大きな事故が起きる前に対応してほしい。	後日、町内会長と一緒に場所を確認させていただきます。
本江公民館	本江の公民館が老朽化してきているため、建て替えの話がでていいる。付近には災害時に避難できる場所が無いため、避難場所としての設備を兼ね備えたものができたらいいと思っている。市、県、国などの補助があれば教えてほしい。	補助金制度や貸付制度があります。生涯学習・スポーツ課へご相談ください。
避難施設	山加積地区公民館は避難施設となっているが、避難施設は土砂災害警戒地域から50mは離れないといけない。山加積地区公民館は本当の意味での防災拠点ではないと思うが。	ご指摘のとおり、山加積地区公民館は警戒区域内です。しかしながら、公民館は保育所とともに鉄筋コンクリート施設であり、一定の強度はあります。
林道大林谷線・黒川線	東福寺野自然公園から穴の谷へ続く道路(林道大林谷線・黒川線)が広ければ大型バスで行き来できるのに残念だ。拡幅は難しいか。	道路を拡幅するとなると山を削ったりすることになり、かなりの費用がかかると思われます。林道拡幅の補助事業等を確認してみますが、現状では難しいと思います。
土砂災害	土砂災害の警戒区域など、いろいろと示されているが、何mmの雨が降ると危険なのか、具体的な数値はあるか。小森公民館は警戒区域のど真ん中に位置しており、不安である。砂防堰堤などを考えてくれないか。	配布しているハザードマップに具体的な数値が記載してあります。また、大雨洪水警報が出されている時は、総務課、建設課の職員が市役所に待機し、対応にあたっています。危険な箇所、不安な箇所を連絡いただければ、県へ進達します。
火災時の消火用の水	東福寺で火事が起きて消火のための放水が行われた際に、水が使えなくなった。	ご迷惑をおかけして申し訳ありません。東福寺から自然公園へ水を上げるポンプ2台を交互に使用しておりましたが、今後は有事の際に2台1度に使えるように工事をしています。
サル被害	過疎化、高齢化も進んでおり、サルやイノシシへの対応は個人では限界がある。	現在、捕獲隊も高齢化が進んでおり、若い人もいますが昼間は仕事に出ており、緊急時でもすぐには対応できないのが現状です。市としましても、対応には苦慮しているところですが、電気柵の推進をしていきたいと考えています。
コミュニティバス	運賃が100円でとても安いですが、市内をぐるっとまわるルートのため目的地まで時間がかかり、不便である。	コミュニティバスにつきましては、料金をおさえるために運営費を節約しながら、各町内の要望等を考慮し、4台のバスでできる限り努力しています。ご理解いただければと思います。
防災無線	普段でもあまり聞こえない。対応策は？	防災無線の場所は、聞こえ方を計算して設置してありますが、風向きなどの影響もあり、全域に聞こえやすくというのは現実的には難しいのが現状です。数を増やしたり、音を大きくしてもかえって聞き取りづらくなることもあります。防災ラジオを活用していただけたらと思います。
本江遺跡	本江遺跡のまわりが、雑草や藤の根などでひどい有様になっている。目に見える部分を切るのではなく、もとから断たないと意味が無い。大きな木も邪魔になっており、遺跡がみすぼらしく見えてしまう。遺跡のあり方についてきちんと考えるべきではないか。	遺跡の保存のための木もあるかと思いますが、今後につきましては相談させていただきます。
ほたるいか海上観光	ほたるいか海上観光は欠航が多いと聞いている。出航のチャンスを増やすため、海上観光の期間を延ばすことはできないか。	近年はほたるいかの早い時期から獲れ出したこともあり、昨年度から海上観光の期間を前倒しして実施しています。しかしながら、3月や4月上旬は海が荒れやすく、難しいのも現状です。
中央線の電線	中央線で柳原のあたりでは、電線が木の間をぬって走っている。災害時などに危険はないか。	北陸電力が危険な部分や支障がでそうな部分の木の枝等を伐採しています。